

## 2022年度-2024年度強化競技者規程

### (目的)

第1条 公益財団法人日本陸上競技連盟（以下「本連盟」という。）は、第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）において、メダル獲得及び8位入賞が期待されると本連盟が認定した競技者に対して、本連盟の強化方針に沿った個人強化活動の充実を図るために本規程を定める。

### (格付けの基準)

第2条 強化競技者の格付けは2ランクとする。

#### (1) ゴールドアスリート

強化競技者指定対象国際競技会の個人種目において8位以内に入賞した競技者。

#### (2) シルバーアスリート

強化競技者規程に定める強化競技者標準記録対象競技会において、シルバーアスリート指定標準記録を新たに満たした競技者。

強化競技者指定対象国際競技会、強化競技者標準記録対象競技会は別紙のとおりとする。

### (資格の付与)

第3条 本連盟は、第2条のいずれかに該当した競技者に対して、当該競技者が第7条に定める強化競技者の義務を遵守することを承諾し、かつ本連盟との間で強化競技者契約を締結することを条件として、第2条のいずれかに該当した日をもって、強化競技者の資格を付与する。

### (指定の期間)

第4条 本規程の対象期間は2022年4月1日から2024年8月末までとし、強化競技者として指定される期間は、対象期間の範囲内で以下に定めるとおりとする。

(1) ゴールドアスリートの指定期間は、資格を付与された日（以下「資格付与日」という）の翌日（資格付与日が2022年3月30日以前の日である場合については、2022年4月1日）から資格付与日が属する事業年度の翌事業年度末（翌事業年度が2024年度となる場合については、2024年8月末日）までとする。

(2) シルバーアスリートの指定期間は以下のとおりとする。

#### 1) 指定標準記録を4月1日～10月末までに満たした場合

資格付与日の翌日から資格付与日が属する事業年度末（当該事業年度が2024年度である場合については、2024年8月末日）までとする。

#### 2) 指定標準記録を11月1日～翌年3月末までに満たした場合

資格付与日の翌日から資格付与日が属する事業年度の翌事業年度末（翌事業年度が2024年度となる場合については、2024年8月末日）までとする。

- 2 前各項にかかわらず、資格付与の要件若しくは処遇について本規程が改定され、又は、第2条第2項に基づいて本連盟が指定する競技会若しくは標準記録の年度毎の指定若しくは年度途中における見直しがなされた場合において、改定後の規程又は、競技会若しくは標準記録の新年度における指定若しくは年度途中の見直しの趣旨に照らし、本連盟が必要と認めるときは、本連盟は、指定された期間の中途であっても、指定を解除し、または処遇の変更をすることができる。

#### (指定の解除)

第5条 本連盟は、強化競技者が、次のいずれかに該当するときは、年度途中であっても、指定を解除し、または強化費の使用を停止することができる。

- (1) 引退した競技者
- (2) 長期間競技会に出場していない競技者
- (3) 居場所情報の提出義務違反や検査未了等、アンチ・ドーピングの理念に反する行動をとった競技者
- (4) 第7条に違反した競技者
- (5) 強化競技者契約に違反した競技者
- (6) その他、本連盟が強化競技者として不適切であると判断した競技者

#### (処遇)

第6条 強化費は、指定期間中、ゴールドアスリートについて各年度150万円、シルバーアスリートについて100万円を上限とする。シルバーアスリート指定期間中にゴールドアスリート指定条件を満たした場合、ゴールドアスリート資格付与日の属する事業年度に使用できるゴールドアスリートとしての強化費の上限金額は、シルバーアスリートとして使用できる強化費と合計して150万円とする。

なお、強化費の使途は本連盟が別に定める。

#### (強化競技者の義務)

第7条 強化競技者の指定を受けようとする競技者は、次に定める義務を遵守することを承諾すると共に、本連盟との間で、別途、強化競技者契約を締結しなくてはならない。

- (1) 本制度の目的に即して、競技力の向上に努める。
- (2) 正当な理由がある場合を除き、本連盟が指定する国際大会に出場する。
- (3) 正当な理由がある場合を除き、本連盟が指定する行事に参加する。
- (4) 原則として年1回、本連盟が指定する測定及びメディカルチェックを受診する。
- (5) アンチ・ドーピングに関わる全ての基準を適正に順守する。
- (6) 本連盟に対し、定められた時期に強化計画の提出と活動実績の報告をする。
- (7) 本連盟が必要とした面談に応じる。
- (8) 日本を代表するトップアスリートとして自覚を持ち、メディアからのインタビュー、取材

- 及び撮影などを受けるときは、身だしなみや服装に注意し誠実に対応する。
- (9) メディアへの対応、肖像権等に関する義務は、本連盟が別に定める。

以上

## 2022年-2024年強化競技者指定に関する対象競技会

### 1. 強化競技者指定対象国際競技会

第32回オリンピック競技大会（2021／東京）

第18回オレゴン世界陸上競技選手権大会（2022／アメリカ）

第19回ブダペスト世界陸上競技選手権大会（2023／ハンガリー）

### 2. 強化競技者標準記録対象競技会

2022年4月1日～2024年6月末日までの下記競技会を対象とする。

#### （1）国際競技会

WA ワールドランキングのD カテゴリー以上の競技会

#### （2）国内競技会

1) 日本陸上競技選手権大会（10000m・混成競技・競歩含む）

2) 日本グランプリシリーズ

3) ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ グレードS・グレード1

4) 全日本競歩能美、全日本競歩高島

以上

## 2022年-2024年 強化競技者標準記録

男子	種目	女子
シルバー		シルバー
9.87	100m	10.80
19.82	200m	22.16
43.90	400m	49.73
1.43.37	800m	1.57.21
3.30.17	1500m	3.56.92
12.57.63	5000m	14.30.60
26.56.15	10000m	30.21.19
8.07.39	3000mSC	9.10.35
13.05	110mH/100mH	12.53
47.84	400mH	53.46
2.36	走高跳	2.00
5.92	棒高跳	4.82
8.39	走幅跳	7.04
17.47	三段跳	14.45
21.97	砲丸投	19.88
68.13	円盤投	67.25
79.61	ハンマー投	75.61
89.13	やり投	66.28
8601	十種競技/七種競技	6593
2:04:21	マラソン	2:20:18
1:18:20	20km 競歩	1:26:17
2:26:07	35km 競歩	2:43:38

※世界ランク 4 位平均とし、2016、2017、2019、2021 の平均記録で算出

※アジア競技大会開催年、2020 年度の記録は平均の対象外とする。

※男子 35 km 競歩については男子 50 km 競歩、女子 35 km 競歩については女子 20 km 競歩の指定記録を WA スコアリングテーブルにおける同一ポイントの 35 km 競歩の記録に換算。